



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 ニッキ

上場取引所 東

コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 和田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,126	3.4	402	16.6	429	△17.1	270	△31.0
2019年3月期第2四半期	3,988	△11.5	344	△26.1	518	1.2	392	1.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 16百万円 (△95.3%) 2019年3月期第2四半期 349百万円 (△16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	143.37	—
2019年3月期第2四半期	208.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	13,391	7,608	56.5	3,997.67
2019年3月期	13,479	7,731	57.1	4,090.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,566百万円 2019年3月期 7,700百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	85.00	85.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	11.9	590	△24.6	610	△37.5	430	△46.4	228.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	2,000,000 株	2019年3月期	2,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	107,336 株	2019年3月期	117,630 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,886,660 株	2019年3月期2Q	1,877,473 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定であります。また、決算説明会資料につきましては、決算説明会開催後、当社ホームページにて掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が持続したものの、生産面や輸出の伸び悩みから足踏み感が継続しました。また、世界経済は、米中貿易摩擦の拡大・長期化、それに伴う中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題の継続等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、中国向けガス製品の販売増加や米国向け燃料ポンプの販売増加等により、連結売上高は41億2千6百万円（前年同期比3.4%増加）となりました。

損益につきましては、収益性の高い商品の販売増加や不採算取引の改善効果等により、営業利益は4億2百万円（同16.6%増加）となりました。一方、為替相場が前年度よりもやや円高基調で推移したため、経常利益は4億2千9百万円（同17.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千万円（同31.0%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ガス機器事業は、中国市場向け製品の販売増加や受託実験の増加等により、売上高は18億6千万円（同8.3%増加）、セグメント利益は1億7千万円（同44.9%増加）となりました。

汎用機器事業は、燃料ポンプや採算性を改善した新機種の販売増加等により、売上高は17億3千4百万円（同10.7%増加）、セグメント利益は3千6百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

自動車機器事業は、フォークリフト向けキャブレターの一時的な販売減少やインド市場におけるダイカスト関連製品の販売減少等により、売上高は2億5千3百万円（同40.7%減少）、セグメント損失は2千万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

不動産賃貸事業は、売上高は2億7千7百万円（同0.2%増加）、セグメント利益は2億1千5百万円（同3.6%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

##### （資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、133億9千1百万円と前連結会計年度末と比べて8千7百万円減少しました。主な増減項目は、投資有価証券の減少（2億9千5百万円）、商品及び製品の増加（2億7百万円）であります。

##### （負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、57億8千2百万円と前連結会計年度末と比べて3千5百万円増加しました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の増加（1億6千8百万円）、短期借入金の増加（9千9百万円）、長期借入金の減少（1億4百万円）、退職給付に係る負債の減少（7千5百万円）、電子記録債務の減少（5千3百万円）であります。

##### （純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、76億8百万円と前連結会計年度末と比べて1億2千2百万円減少しました。主な増減項目は、その他有価証券評価差額金の減少（2億8百万円）、利益剰余金の増加（1億7百万円）であります。

#### ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における、現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加（5億3百万円）が投資活動によるキャッシュ・フローの減少（3億1千1百万円）及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少（1億7千2百万円）を上回り、また、現金及び現金同等物に係る換算差額の増加（1千7百万円）による調整を行った結果、現金及び現金同等物の残高は、38億5千8百万円（前第2四半期連結累計期間は35億5千9百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比べて2億9千9百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は5億3百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益（4億2千9百万円）によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は3億1千1百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（3億1千万円）によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は1億7千2百万円となりました。これは主に配当金の支払額（1億6千万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、通期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦の拡大・長期化懸念等の影響もあり、景気の先行き不透明感が一段と強まっていることから、現時点においては、前回予想値（2019年5月15日公表）を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,975,730	4,011,285
受取手形及び売掛金	1,239,058	1,209,868
電子記録債権	228,827	259,221
商品及び製品	651,300	859,085
仕掛品	1,100,357	1,079,468
原材料及び貯蔵品	51,148	53,254
その他	214,165	322,919
貸倒引当金	△5,005	△4,741
流動資産合計	7,455,582	7,790,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,663,045	2,596,824
機械装置及び運搬具(純額)	993,076	886,439
その他(純額)	553,794	640,328
有形固定資産合計	4,209,916	4,123,592
無形固定資産	66,707	58,141
投資その他の資産		
投資有価証券	1,680,908	1,385,369
その他	65,981	34,221
投資その他の資産合計	1,746,890	1,419,591
固定資産合計	6,023,513	5,601,325
資産合計	13,479,096	13,391,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,007	417,825
電子記録債務	426,410	372,560
短期借入金	2,308,148	2,407,923
未払法人税等	111,825	122,750
賞与引当金	154,050	162,057
その他	548,903	547,688
流動負債合計	3,798,345	4,030,805
固定負債		
長期借入金	154,073	50,000
退職給付に係る負債	908,213	833,058
その他	886,933	869,093
固定負債合計	1,949,220	1,752,152
負債合計	5,747,566	5,782,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	45,257	44,762
利益剰余金	6,516,452	6,623,793
自己株式	△277,732	△253,426
株主資本合計	6,783,977	6,915,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	867,851	658,914
為替換算調整勘定	52,627	△12,534
退職給付に係る調整累計額	△4,266	4,731
その他の包括利益累計額合計	916,212	651,111
非支配株主持分	31,340	42,488
純資産合計	7,731,530	7,608,729
負債純資産合計	13,479,096	13,391,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,988,573	4,126,081
売上原価	2,886,723	2,992,288
売上総利益	1,101,850	1,133,792
販売費及び一般管理費	756,893	731,507
営業利益	344,956	402,285
営業外収益		
受取利息	4,993	6,090
受取配当金	40,963	37,080
為替差益	125,252	—
その他	15,323	22,557
営業外収益合計	186,532	65,729
営業外費用		
支払利息	13,471	15,537
為替差損	—	23,170
その他	0	0
営業外費用合計	13,472	38,707
経常利益	518,017	429,307
特別損失		
固定資産除売却損	565	57
特別損失合計	565	57
税金等調整前四半期純利益	517,451	429,250
法人税等	126,805	147,897
四半期純利益	390,646	281,352
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,479	10,858
親会社株主に帰属する四半期純利益	392,125	270,493



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	390,646	281,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,220	△208,936
為替換算調整勘定	△75,000	△64,872
退職給付に係る調整額	8,965	8,997
その他の包括利益合計	△40,813	△264,811
四半期包括利益	349,832	16,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,380	5,393
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,547	11,148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	517,451	429,250
減価償却費	288,982	252,920
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△167,833	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,641	△263
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,812	8,284
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△892	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△48,173	△61,903
受取利息及び受取配当金	△45,956	△43,171
支払利息	13,471	15,537
為替差損益 (△は益)	△14,763	△7,345
固定資産除売却損益 (△は益)	565	57
売上債権の増減額 (△は増加)	359,608	△9,452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36,804	△215,986
仕入債務の増減額 (△は減少)	△84,691	111,791
その他	209,721	81,270
小計	1,002,856	560,990
利息及び配当金の受取額	45,956	43,171
利息の支払額	△13,471	△15,545
法人税等の支払額	△194,624	△84,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	840,717	503,616
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△87,422	△85,791
定期預金の払戻による収入	87,134	85,516
投資有価証券の売却による収入	60	—
有形固定資産の取得による支出	△110,574	△310,312
貸付けによる支出	△366	△484
貸付金の回収による収入	399	432
その他	△75	△606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,844	△311,246
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△103,704	△3,488
自己株式の取得による支出	△215	△215
リース債務の返済による支出	△21,420	△9,023
配当金の支払額	△149,920	△160,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,260	△172,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,767	17,200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	570,379	36,841
現金及び現金同等物の期首残高	2,988,825	3,822,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,559,204	3,858,860

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が67,130千円、流動負債の「その他」が10,432千円及び固定負債の「その他」が57,344千円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	1,717,484	1,566,288	428,280	276,520	3,988,573	—	3,988,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,717,484	1,566,288	428,280	276,520	3,988,573	—	3,988,573
セグメント利益又は 損失(△)	117,798	△5,616	9,540	223,235	344,956	—	344,956

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	1,860,532	1,734,609	253,854	277,085	4,126,081	—	4,126,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,860,532	1,734,609	253,854	277,085	4,126,081	—	4,126,081
セグメント利益又は 損失(△)	170,668	36,608	△20,235	215,244	402,285	—	402,285

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。